

社会科学習指導案

授業日時 平成 30 年 8 月 31 日(金) 第 5 校時
 授業学級 2 年 D 組 男子 20 名 女子 20 名 計 40 名
 授業会場 2 年 D 組
 授 業 者 _____
 指導教員 _____

1 単元名 「九州地方 ―環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし―

2 主眼

九州地方の人々はどのように火山と生活しているか考える場面で、火山による被害や、火山による地形、人々の火山への対応に関する資料を調べたり、友と話し合ったりすることを通して、火山が九州地方の人々の生活に被害をもたらし、対応しなければならない一方、恩恵ももたらしていることに気付くことができる。

3 本時の位置 (全 5 時間扱い中 第 1 時)

＜次時＞九州地方の気候や地形と農業の結びつきについて学ぶ。

4 指導上の留意点

映像を提示する際は、あらかじめ準備をしておき、スムーズに提示できるように留意する。

5 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	教師の支援 (・) と 評価	時間
導 入	1 桜島についての映像やデータを見て、学習問題を設定する。 【全体】	◎火山が噴火している。 ◎桜島だ。 ◎九州地方には桜島以外に、18 の活火山があるんだ。 ◎神社の鳥居が埋まってるね。 ◎2 メートルもの火山灰が積もったんだね。 ◎今現在も桜島は噴火しているんだ。 ◎住宅地が火山の煙で見えなくなった。 ◎九州地方にはたくさんの火山があるんだな。 ◎九州地方の人々はどのようにして火山と付き合っているんだろう。	・桜島の噴火映像を提示し、噴火の年月日に注目するよう促すことで、桜島の噴火が今なお続いていることを理解することができるようにする。 ・桜島の噴火映像で、住宅地に着目するように促すことで、火山と九州地方の人々の生活の関係性に着目することができるようにする。 ・九州地方の火山分布を提示することで、火山は九州地方全体に関係していることを意識することができるようにする。	10
	2 自分の考えや予想を発表し合い、学習課題を設定する。 【個人・全体】	◎火山灰で健康に被害がありそう。何か健康対策をしているのかな。 ◎火山噴出物の処理はどうなっているんだろう。どこか捨てるところがあるのかな。 ◎さっき映像で見た桜島は観光客が多そうだ。 ◎火山による影響は被害だけじゃないのかな。	・生徒の予想で、火山による被害しか出てこなかった時は、「火山があることで人々が受ける影響は被害だけですか」と問うことで、火山が人々に与える良い影響についても考えることができるようにする。	5
展 開	3 資料を読み取り、学習問題について調べる。 【個人】	学習問題:火山は九州地方の人々にどのような影響を与えているのだろうか。		15
		学習課題:火山によるマイナス面への対策やプラス面を調べよう。		
展 開		◎火山灰は人体の健康に影響するから、防塵マスクが必要なんだ。 ◎専用のゴミ袋があるんだね。 ◎鹿児島では火山灰を普通のゴミと同じように回収しているんだ。 ◎火山によってつくられる地形があるんだ。 ◎火山によってシラスが形成されるんだ。 ◎シラスは崩れやすくもろい地形なんだ。 ◎火山によってカルデラが形成されるんだね。 ◎カルデラは観光地の役割も果たしているんだ。 ◎火山があることで、九州地方には温泉が多いんだ。 ◎火山を活かした地熱発電では、松本市の約35%の世帯の電気をまかなうことができるんだ。	・資料1【火山灰対策】を提示することで、火山灰による人体への影響や、日常生活の中で様々な工夫をしていることに気付くことができるようにする。 ・資料2【火山によってつくられた地形】を提示することで、火山によって形成される地形とその地形の特徴、その地形に対する九州の人々の対策や活用を読み取ることができるようにする。 ・資料3【火山による恩恵】を提示することで、九州地方に火山があることによって、九州地方の人々が温泉によって利益を得たり、地熱発電のエネルギー源として活かしたりして、生活に活用していることを読み取ることができるようにする。	

展 開	4 資料から読み取ったことを発表し合う。 【全体】	◎九州地方の人たちは日ごろから火山灰に対する対策をしっかりしているんだね。 ◎火山に関わる地形があつて、災害とか大変なこともあるんだけど、うまく観光にも生かしている。 ◎発電にも使われているなんてびっくりした。 ◎火山の恩恵もけっこうあるんだね。	- 資料の読み取りが難しい生徒には、「火山灰に対して九州地方の人々はどんな対応をしているかな」と問い、一緒に一つの資料を読むことで、資料の追究を焦点化することができるようにする。 - 全体で、追究を共有する時間を設けることで、自分では読み取れなかった資料についても考えることができるようにする。 - 板書で九州地方の人々の火山に対する対応と火山の活用を分けて書くことで、2つの視点で、整理できるようにする。 火山が九州地方の人々の生活に被害をもたらし、対応しなければならない一方、恩恵ももたらしていることに気付くことができるかどうか、学習カードや発言から評価する。	10
	5 単元の学習問題を設定する。 【全体】	単元の学習問題：九州地方の自然環境と、人々はどう付き合ってきたのだろう。 ◎台風とかも来るし、気候の面ではどんな様子かな。 「火山以外に、自然環境にはどんなものがあるかな」と問うことで、次回の気候の内容を意識づけすることができるようにする。		3
ま と め	6 本時の学習で考えたこと、新たに学んだことを学習カードに記入する。 【個人】	◎火山は被害が大きいイメージしかなかったけど、被害だけでなく、火山があるからこそその恩恵があることが分かった。 ◎九州地方の人々は他に、どんな自然環境で生活しているんだろう。	本時の学習で学んだこと、本時の学習で疑問に思ったことを振り返り、学習カードに記入するように促すことで、次時への意識を高めることができるようにする。	7

6 板書計画

学習問題	分かったこと	単元の学習問題
予想	対応	活用
学習課題	まとめ	

準備するもの

- ・本時の学習カード
- ・単元の学習カード
- ・資料
- ・パワーポイント